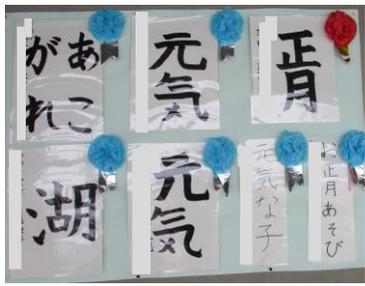
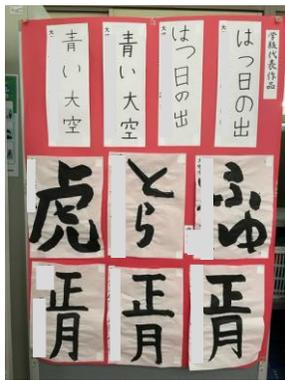


始筆

No. 4
令和 4年 2月 17日
京都市小学校
書写教育研究会

二学期末に行なった「京都市小学校児童書き初め展」に全ての学校が参加してくださいました。校内審査にご協力くださった書写主任をはじめとする関係の先生方、本当にありがとうございます。書き初め展の作品の校内掲示の様子を掲載します。



【水書指導のポイント】

指導要領解説より、低学年において、適切に運筆する能力の向上につながるよう指導を工夫することが示されています。その方法の一つとして「水書用筆等を利用した運筆指導」が取り上げられています。（一年生の教科書に水書用筆が綴じこまれています。）書写教育研究会では、低学年以外の学年でも、児童が「書けた。」と感じられる水書指導の有効性を感じ、具体的な指導方法を検討しています。特に、書写全体や毛筆に苦手意識をもっている児童が楽しんで取り組む姿も多く見られます。是非、各学校で活用していただけたら嬉しいのです。

〈指導の取り入れ方〉

- ☆指先や手の運動、水書用筆の扱い方についてのウォーミングアップを段階的に行います。
- ☆水書用筆と硬筆を交互に使い、硬筆に生かすようにします。
 - ※「運筆を体感するための学習」ととらえます。
- ☆横線・縦線・折れ線・波線・絵・螺旋などを書く活動を行います。
- ☆筆記具の弾力を楽しみ、慣れる活動にします。
- ☆筆圧による線の太さの変化を確かめます。
- ☆硬筆につながるよう、鉛筆と同じ持ち方で書きます。



〈低学年での水書用筆を活用した指導〉

- 三～六年生の毛筆の学習でも同じ流れで指導することで、学習の見通しがもちやすくなります。
- ① 試し書き（試書）・・・鉛筆で行います。「合言葉」を取り入れ、正しい持ち方・良い姿勢で試し書きをします。
- ② 課題把握・・・基準と本時のめあてを確認します。試し書きと基準を比較し、自分の課題をもつ時間にします。
- ③ 練習・・・水書用筆でウォーミングアップをします。水書用筆と鉛筆を交互に使い、めあてに沿った練習になるようにしましょう。



水書用筆



鉛筆

- ④ まとめ書き・・・鉛筆で書きます。
- ⑤ 自己評価・相互評価・・・めあてについてのみ評価します。水書用筆での練習過程を見取り、評価します。
- ⑥ 日常に生かせる活動を行います。

（中高学年での水書用筆を活用した指導例）

- ・名前の練習
- ・小筆で俳句を書く学習の事前練習
- ・カリキュラムマネジメントを意識した教科横断的な学習



【年度末・年度初めに向けて】

学年のまとめの時期に入りました。来年度に向けて、年度末にしておくことと便利なことや年度初めに向けて準備しておくこととよいことをお伝えします。

《年度末》

- ・書写作品の整理、ノートのまとめ・評価をしておくことと来年度の学習につながります。
- ・太筆・小筆の状態を確認し、きれいな状態を保っておくこととよいです。来年度に必要なものの予算要求をしておきましょう。

《年度初め》

- ・筆の洗いや道具の片付け方の指導の確認をします。
- ・学習の見通しをもつため、**試書** **課題把握** **練習** **まとめ書き**のフラッシュカードを作っておくと便利です。
- ・指導に必要な学習プリントや書写のノート等の準備物の確認をします。

《あると便利なもの》

- 蓋つきのボトル（広口試薬瓶ポリ製やプラスチック製水筒）
学習後、児童が筆を洗うためのもの
- ハンガーピンチ（洗濯物干し）
学級で筆を吊るして干すのに使います。
- 水書用紙
低学年の硬筆学習で使用しますが、三年生以上の学年でも、墨液を使わず小筆の練習をするのに使うことができます。

●作品ばさみ

練習した作品を床に置かずに保管できます。学校にあるもので手作りできます。



「使うもの（一人分）」

- 厚紙（板目紙や方眼紙くらいの厚さのもの）二枚・
ガムテープ・紐二本（取っ手用）・コマテープ・穴あけパンチ
- 筆の洗い方動画の確認

本研究会エポに掲載しています。どうぞ、ご覧ください。
教職員研修支援 SMART PORTAL ↓京都市総合教育センター
↓教育研究団体 ↓小学校 ↓京都市小学校書写教育研究会 ↓
習字道具の管理方法 ↓動画コンテンツのご紹介 ↓

この始筆の書体は、教科書体です。児童が目にする文字は、できるだけ正しい書体にしましょう。

★白表紙の小学校書写教育研究会の実践の冊子を、各校に六月二日書写主任宛てに「始筆」と共に送付しています。ぜひ、ご活用ください。